【経済学部／経済学研究科】

2016 年度以降入学者向け 履修要項（2022 年度配付）訂正・変更一覧

（2025 年 3 月 19 日時点　訂正・変更一覧）

＊全学共通科目の訂正･変更については、以下の「全学共通科目 訂正･変更一覧」を確認すること。

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと　※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと　※冊子 PDF には反映をしていません

＜2025 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	3	変更	教務事項の伝達について	4 教務窓口	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	14 16	変更	Ⅰ　カリキュラムのしくみ（RIKKYO Learning Style）	2 科目ナンバリングについて 2.全学共通科目のナンバリング	①科目の設置学部学科（専修）・研究科を示すアルファベット 3 文字 ポルトガル語 ↓ **変更後** ポルトガル語（ブラジル）
3/19	20	変更	Ⅱ　授業（学習生活）	5　補講	教務部掲示板および以下の場所で発表する。 ↓ 教務部掲示板で発表する。 （インフォメーションボード等削除）
3/19	114		博士課程前期課程 授業（学習生活）	項目の追加	11 全学共通科目の履修について （以降項番修正）
3/19	26	変更	Ⅲ-2 履修規定 履修についての注意事項	9 他学部等科目の履修について	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
3/19	27	変更		11 派遣留学生･認定校留学生の履修	複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること

3/19	29	変更	Ⅲ-3 履修規定 単位認定	2 休学留学制度による単位認定	大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で 「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される。 ↓ **変更後** 大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で 「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり認定される場合がある。
3/19	42 54 126 137 151	変更	Ⅵ 試験・成績 博士課程前期課程 Ⅵ 試験・成績 博士課程後期課程 Ⅵ 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」「試験方法」「追試験」「試験時間重複特別試験」「成績」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること**
3/19	56 57	変更	Ⅶ　卒業に関する事項	5 特別卒業	項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること**
3/19	61 143 153	変更	Ⅷ　学籍・学費 博士課程前期課程 Ⅷ　学籍・学費 博士課程後期課程 Ⅸ　学籍・学費	6 再入学	項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること**
3/19	67	変更	5 大学間単位互換制度（通称 f-Campus）	項目の追加	5 履修中止 f-Campus 科目は履修中止申請が認められない。 （以降項番修正）

3/19	138	変更	Ⅵ　修士論文	4. 論文提出に際しての注意	提出方法変更に伴い以下の項目を削除 ＊交通機関の遅延も想定し，提出にあたっては十分な余裕をもって臨むこと。 ＊本人が提出できない場合は，信頼できる代理人に依頼するなどの措置を講じること。 ＊不測の事態により，本人または代理人が修士論文の提出で受付窓口に来室できない場合は，当日の 提出期間内にその対応について，池袋キャンパス教務事務センターに問い合わせ，指示を仰ぐこと。 不測の事態とは，事件・事故や交通機関の大幅な遅延などの場合である。個人的事情，プリンター等の機器の故障は不測の事態に含まれない。
3/19	148	変更	博士課程後期課程 Ⅰ学位授与について	3.学位の名称	項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること**
3/19	150	変更	博士課程後期課程 Ⅳ履修登録	(2)	(2) 初回授業の集合日時・場所については，経済学研究科掲示板で発表する。 ↓ **変更後** 初回授業の集合日時・場所については，RGuide で発表する。

＜2024 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達について	1　掲示 2　教務関連 Ｗｅｂサービス 3　緊急時連絡 4　教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は **2024 年度版の履修要項で確認すること。**
3/19	14	変更	科目ナンバリングについて	2　全学共通科目のナンバリング	**言語系科目のナンバリング**に複数の追加・変更が生じているので、**2024 年度履修要項で確認すること。**
3/19	20 21	変更	Ⅱ　授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講	「**授業形態**」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は **2024 年度版の履修要項で確認すること。**

	112 113		博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	8 学校感染症に罹患した場合の措置について	
3/19	23	変更	Ⅲ-1 履修規定（単位）	2 卒業要件単位	**以下の文言を追加** ⑶ 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は，60 単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業 60 単位上限）。60 単位を超えた単位は随意科目となり，卒業要件単位には算入されない。 履修中及び修得した遠隔授業の単位数は，成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業 60 単位上限」の対象となる科目は，授業形態により定められる。授業形態については，Ⅱ 授業（学習生活）を参照
3/19	25	変更	Ⅲ-2 履修規定（履修についての注意事項）	2 履修登録上限単位数	「**〈全学共通科目の履修登録上限単位数〉**」において、**言語自由科目（英語）に関する記載を削除**
3/19	35	変更	Ⅴ 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」（2）※部分について 以下のとおり変更 全学共通科目言語 A（英語） ↓ **全学共通科目言語系科目** 「3. 抽選登録」（2）⑥部分について **全学共通科目言語自由科目（英語）に関する記載を削除**
3/19	42 126	変更	Ⅵ 試験・成績 博士課程前期課程 Ⅴ 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、**この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。**
3/19	56	変更	Ⅶ 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業（9 月卒業）とは」において**以下の文言を追加（赤字部分）** 3．申請時において，在学 8 学期目以降の学生であること ただし，在学学期数に関しては，法学部法学科法曹コースの対象学生については，在学 6 学期以降で足りるものとする

3/19	58 61	変更	Ⅷ　学籍・学費	2　休学・復学 6　再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、**この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。**
	140 143		博士課程前期課程 Ⅷ　学籍・学費	2　休学・復学 5　再入学	
3/19	63	変更	Ⅸ　グローバル教養副専攻	5　G副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に**以下のテーマを新設** **9.　Russian Language & Culture** **選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。**
3/19	116	変更	博士課程前期課程 Ⅱ　履修規定（修了要件単位）	1　単位制度 2．単位の考え方	1　単位制度において以下の文言を変更 本専攻博士課程前期課程の授業科目は，１週２時間を半期ずつ１・２に区分したものを各２単位とする。また，４半期間で１週２時間２コマ計４時間科目の単位数は２単位とする。 ↓ **大学院博士課程での学修は，単位制となっている。科目には一定の単位が定められており，その科目の履修登録をし，授業を受け，かつ，試験に合格した場合，当該科目の単位が与えられる。**
					「2．単位の考え方」の項目追加 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	149		博士課程後期課程 Ⅲ　履修規定	1．学位授与のための履修上の要件	**以下の文言を追加** 2 単位制度 単位制度については，博士課程前期課程履修規定　1　修了要件単位　「1．単位制度」を参照する　こと。
3/19	138	変更	博士課程前期課程 Ⅵ　修士論文	6．修士学位論文 審査基準	「審査基準」において**以下の文言の修正** 1　修士論文作成指導教員による論文作成の指導を受けていること 2　研究テーマが明確で独創性があること 3　研究内容と方法が適切であること 4　論文構成が適切で，論旨展開が論理的で明晰であること 5　使用する文献・史資料の引証が明確で適切であること

					6　研究倫理に十分に配慮し，「立教大学研究活動行動規範」を遵守していること ↓ 1　研究テーマが明確で独創性があること 2　研究内容と方法が適切であること 3　論文構成が適切で，論旨展開が論理的で明晰であること 4　使用する文献・史資料の引証が明確で適切であること 5　研究倫理に十分に配慮し，「立教大学研究活動行動規範」を遵守していること 6　学位授与の方針に定めた知識，能力等を有すると認められること
	152		博士課程後期課程 Ⅷ　博士学位申請	7．博士学位論文 審査基準	「審査基準」において**以下の文言の修正** 5　当該研究分野において独創的な学術的貢献をなしていること 6　研究に対して高い倫理性を有していること ↓ 5　研究に対して高い倫理性を有していること 6　学位授与の方針に定めた知識，能力等を有すると認められること
3/19	139	変更	博士課程前期課程 Ⅶ　修了に関する事項	3．特別修了	「3．特別修了〈特別修了（9 月修了）（3 月修了）申請条件〉」において**以下の文言の削除** **TESOL-J**

＜2023 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/20	2	変更	教務事項の伝達について	2　教務関連Ｗｅｂサービス	「授業支援システム（Canvas LMS，Blackboard 等）」など、項目の追加や修正がされているため、「教務事項の伝達について」は 2023 年度版の履修要項で確認すること。
3/20	19 ～ 21	変更	Ⅱ　授業（学習生活）	2 学期・授業 4 休講 5 補講	休講・補講、学校感染症の周知方法などに変更が生じているため、この項目は 2023 年度版の履修要項で確認すること。

	111 ～ 113		博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	・学期に 4 半期科目の説明を追加 ・休講情報の掲示場所の文言を修正 ・補講に関する説明および掲示場所を修正 ・学校感染症についての情報掲載場所を修正
3/20	26	変更	Ⅲ-2 履修規定（履修についての注意事項）	9 他学部等科目の履修について	・「1．注意事項」において下記文言を削除 「当該科目を設置している学部等の教務部掲示板，または」 ・2．「履修登録・履修の可否」において以下の文言を修正 **履修要項 → R Guide**
3/20	27	変更	Ⅲ-2 履修規定（履修についての注意事項）	11 派遣留学生・認定校留学生の履修	「3． 帰国年度の履修登録」において以下の文言を追加（赤字部分） ⑴ 5 月末日（秋学期は 10 月末日）まで（末日が窓口業務を行わない日の場合はその前日まで）に帰国届の提出および履修登録をした場合， （中略） 必ず所属キャンパスの教務窓口に確認すること。 ※帰国年度の履修登録は帰国届を提出していることが前提となる。
3/20	38 123	変更	Ⅴ 履修登録 博士課程前期課程 Ⅳ 履修登録	4 登録科目の確認について	「1．登録科目の確認について」で文言の削除と追加（赤字部分） ~~Blackboard 及び SPIRIT Mobile（mobile V-Campus）~~履修登録状況画面以外の時間割は正式な登録科目の確認には使用できないので注意すること。
3/20	41	変更	Ⅴ 履修登録	6 履修中止制度	2．申請した科目の扱いにおいて以下の文言を修正（赤字部分） **⑴ 成績評価：評価対象とはならない ~~ず，成績通知表には「Q（履修中止）」と表示される~~。**
3/20	42 ～ 54	変更	Ⅵ 試験・成績	項目全体	「レポート試験」の提出方法が Web のみとなること、各種試験方法の発表場所、「追試験」、「成績評価調査」に関することなど、**項目全体を通して大幅な修正が生じているため、この項目は**

	126 ～ 137		博士課程前期課程 Ⅴ　試験・成績		**2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。** ・「立教大学試験実施全学共通規定」の追加 ・「筆記試験」の入退室について文言を修正 ・「レポート」について提出方法など大幅な修正 ・「成績評価調査」の提出方法について修正 ・その他、試験方法発表掲示など文言の修正
3/20	55 ～ 57	変更	Ⅶ　卒業に関する事項	項目全体	「スポーツウエルネス学部・研究科」の新設に伴う追記や、「希望留年」(※学部生のみ)、「特別卒業・修了」の記載内容に大幅な変更が生じているため、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。 ・希望留年（※学部生のみ）の願出書配布・受付・許可者発表を修正 ・特別卒業、特別修了に関する願出書の配布・受付・許可者発表を修正 ・その他文言の修正
	139 140		博士課程前期課程 Ⅶ　修了に関する事項		
3/20	58 ～ 61	変更	Ⅷ　学籍・学費	項目全体	「休学願の配付・提出先について」、「休学中の学費について」、「退学」、「学費」に複数の変更が生じているので、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。 ・休学願の配付、提出先に関する修正 ・休学中の学費に関して修正 ・退学願の配付、提出先に関する修正 ・学費通知の発送および延納制度について修正
	140 ～ 143		博士課程前期課程 Ⅷ　学籍・学費		
3/20	63	変更	Ⅸ　グローバル教養副専攻	5　　G 副専攻のコース・テーマ	「3．Discipline Course」に以下のコースを新設 **6．Japanese Studies in English Program（仮称）※2023 年度新設予定** **日本の文化や社会への理解を深め，豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化理解を育み，日本と世界を結ぶ国際性豊かな人材となるための素養を身につける。**
4/26	100	訂正	会計ファイナンス学科 科目表	単位数の訂正	「アメリカ経済史」4 単位→2 単位 「現代アメリカ経済史」4 単位→2 単位 「労働法」2 単位→4 単位
5/18	21	変更	Ⅱ授業	7　学校感染症に罹患した場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。

	113		博士課程前期・後期課程 授業		申請者には，各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。
8/4	30	訂正	Ⅲ-2　履修規定（単位認定）	5　入学前に修得した単位の認定	以下の文言を削除（赤字部分） ⑹　認定の上限単位数 　入学前に修得した単位の認定は，専門科目・全学共通科目を合わせて，20 単位を上限とする。 （中略）　単位認定の上限 60 単位に含まれる。 　~~また，全学共通科目について，総合系科目の卒業要件単位数を超えて単位認定された場合，その単位は履修区分「自由科目」への算入は認めず，随意科目の単位として扱う。~~

＜2022 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正/変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
7/27	41	訂正	Ⅴ　履修登録	6　履修中止制度 ➡３履修中止申請対象とならない科目	「ただし，全学共通科目および社会学部専門教育科目に限り，長期療養等の事由により，審査のうえ正当であると認められた場合は，この限りではない。」を以下に訂正 「ただし，全学共通科目および経済学部専門教育科目に限り，長期療養等の事由により，審査のうえ正当であると認められた場合は，この限りではない。」
9/2	151	訂正	博士課程後期課程 履修規定その他注意事項	Ⅴ 試験・成績	秋学期科目および通年科目の成績発表時期および成績表評価調査申請期間に関する記載を追記訂正。

教務事務センター

【全学共通科目】

2022年度1年次入学者向け　履修要項（2022年度配付）訂正・変更一覧

（2025年3月19日時点　訂正・変更一覧）

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

＜2025年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	全11	変更	総合系科目 科目群 ３．スポーツ実習	スポーツスタディ	文章中の以下の下線部を変更 また，各担当者から課せられるレポートを提出することにより， ↓ また，各担当者から課せられるレポートやテストにより，
3/19	全38	変更	言語系自由科目 自由科目 １．自由科目 履修上の注意	先修規定	以下の文言を「5.先修規定」として追記 5.先修規定 原則，言語系科目の自由科目に先修科目（※）はない。但し，日本手話については先修科目が設けられているため，履修を希望する場合は必ずR Guideの科目表で詳細を確認すること。 （※）先修科目とは，ある科目を履修するための条件として，先立って，単位を修得しておくことが必要な科目をいう。
3/19	全40	変更	言語系自由科目 自由科目 ３．ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ロシア語	２．母語話者の履修について	文章中の以下の下線部を追記 母語は履修してはならない。 ↓ 一部科目を（※）除き，母語は履修してはならない。 （※）「～語CLIL○」については，母語話者の履修を認める。

＜2024 度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 （Ｆ科目）	TOEIC　→　TOEIC®L&R
					主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるという旨を追記。
3/19	全 16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ１・２」 ↓ 「海外ワークエクスペリエンス１・２」
3/19	全 34 ～ 全 37	変更	言語系科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024 年度 R Guide 掲載の 「言語自由科目 カリキュラムの改定について」を参照すること。

＜2023 年度中の訂正・変更箇所＞　なし

＜2022 年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前　→　訂正後／変更内容
3/19	全-36	訂正	言語系科目 自由科目科目表	科目名	ドイツ語総合Ｂ１（１）→ドイツ語総合１ ドイツ語総合Ｂ１（２）→ドイツ語総合２

以　上